



## 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月3日

上場会社名 ヨシロ化学工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5013 URL <https://www.yushiro.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 有坂 昌規

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート統括本部 財務部長 (氏名) 横井 宏紀

TEL 03-3750-6793

四半期報告書提出予定日 2023年2月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	34,234	23.9	816	3.4	1,106	22.8	442	56.8
2022年3月期第3四半期	27,639	22.0	845	105.0	1,433	105.0	1,025	111.7

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 4,817百万円 (96.6%) 2022年3月期第3四半期 2,450百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	32.50	
2022年3月期第3四半期	75.39	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	58,616	37,760	60.0	2,586.15
2022年3月期	51,085	33,868	61.5	2,310.00

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 35,196百万円 2022年3月期 31,438百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		20.00		28.00	48.00
2023年3月期		10.00			
2023年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,380	23.1	900	0.6	1,230	20.3	500	83.1	36.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	13,900,065 株	2022年3月期	13,900,065 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	290,362 株	2022年3月期	290,362 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	13,609,703 株	2022年3月期3Q	13,597,820 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料3ページ「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算説明資料は、2023年2月3日(金)に当社ウェブサイトに掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、ロシア・ウクライナ問題の長期化に伴う資源・エネルギー価格の高騰、欧米におけるインフレ加速に伴う政策金利の引き上げ、供給面の制約など、先行き不透明な状況が続きました。また日本経済においても、ウィズコロナの下で、徐々に経済活動正常化へ向かっているものの、物価の上昇、日銀の金融政策の修正による為替動向への影響など、引き続き景気の先行きを注視していく必要があります。

このような状況下、当社においては、主要顧客である自動車業界で生産台数の回復傾向が続いていますが、依然として半導体等の部品供給不足による生産調整の影響が続いており、本格的な回復には至っていません。また、原材料価格が依然として高い水準にあり、価格転嫁をはじめ、原価低減や経費節減による利益改善にグループを挙げて取り組んだ結果、一定の成果を上げていますが原材料価格の高騰分をカバーするには至らず、依然として厳しい事業環境にあります。

以上の結果、売上高は前年同期比23.9%増の34,234百万円となりましたが、営業利益は前年同期比3.4%減の816百万円、経常利益は前年同期比22.8%減の1,106百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比56.8%減の442百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。なお、セグメント利益は営業利益ベースの数値であります。

①セグメント別売上高

		前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	増減額(百万円)	増減率(%)
日本		12,048	43.6	13,290	38.8	1,241	10.3
海外	南北アメリカ	8,628	31.2	12,455	36.4	3,826	44.3
	中国	3,674	13.3	4,361	12.7	687	18.7
	東南アジア/インド	3,288	11.9	4,127	12.1	839	25.5
	海外合計	15,591	56.4	20,944	61.2	5,353	34.3
日本+海外合計		27,639	100.0	34,234	100.0	6,594	23.9

②セグメント別営業利益又は損失(△)

		前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	増減額(百万円)	増減率(%)
日本		△63	—	△3	—	59	—
海外	南北アメリカ	486	—	694	—	207	42.7
	中国	337	—	218	—	△118	△35.2
	東南アジア/インド	374	—	251	—	△122	△32.7
	海外合計	1,198	—	1,164	—	△33	△2.8
日本+海外合計 (調整額除く)		1,135	—	1,160	—	25	2.2

### ③セグメント別概況

(日本)

原材料価格は依然として高い水準にあります。販売価格の改定を進めたことにより増収となり、原価低減や経費節減の効果もあって営業赤字は縮小しました。

(南北アメリカ)

一部拠点において顧客の稼働率低下の影響を受けていますが、クオリケムInc. 及びブラジルにおける販売が好調であり大幅な増収・増益となりました。

(中国)

政府のコロナ政策の影響を受けながらも、販売は比較的堅調に推移し増収となりましたが、原材料価格の高騰等の影響により減益となりました。

(東南アジア/インド)

各拠点において顧客の稼働率は回復傾向にあり増収となりましたが、原材料価格上昇の影響を大きく受けている拠点もあり全体として減益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、58,616百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,530百万円増加しました。主な要因は、「受取手形及び売掛金」が1,879百万円、「現金及び預金」が1,356百万円、「原材料及び貯蔵品」が1,108百万円増加したことによります。

負債は、20,855百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,638百万円増加しました。主な要因は、「長期借入金」が526百万円減少したものの、「短期借入金」が1,898百万円、「支払手形及び買掛金」が1,839百万円増加したことによります。

純資産は、37,760百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,892百万円増加しました。主な要因は、「為替換算調整勘定」が3,924百万円変動したことによります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想の見直しを行った結果、2022年8月5日付当社「四半期決算短信」にて発表しました2023年3月期の連結業績予想を修正いたしました。なお、当該予想に関する詳細は、本日(2023年2月3日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,256	8,613
受取手形及び売掛金	7,868	9,747
商品及び製品	2,071	2,916
原材料及び貯蔵品	3,751	4,859
その他	860	1,026
貸倒引当金	△13	△20
流動資産合計	21,795	27,142
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,312	4,611
機械装置及び運搬具（純額）	1,381	1,464
工具、器具及び備品（純額）	367	323
土地	5,124	5,192
リース資産（純額）	82	76
建設仮勘定	25	88
有形固定資産合計	11,293	11,758
無形固定資産		
のれん	1,885	2,189
顧客関連資産	1,839	2,211
技術資産	580	683
商標権	509	599
その他	511	536
無形固定資産合計	5,325	6,220
投資その他の資産		
投資有価証券	11,002	11,467
保険積立金	683	722
長期預金	17	31
退職給付に係る資産	304	304
繰延税金資産	75	85
その他	599	896
貸倒引当金	△12	△13
投資その他の資産合計	12,670	13,494
固定資産合計	29,289	31,473
資産合計	51,085	58,616

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,519	6,358
短期借入金	3,052	4,951
リース債務	28	31
未払金	1,014	1,272
未払法人税等	172	254
賞与引当金	366	227
役員賞与引当金	9	10
その他	1,384	1,637
流動負債合計	10,546	14,743
固定負債		
長期借入金	3,154	2,628
リース債務	60	50
繰延税金負債	1,854	2,002
役員退職慰労引当金	171	84
退職給付に係る負債	1,224	1,140
長期預り保証金	184	184
資産除去債務	20	20
固定負債合計	6,670	6,112
負債合計	17,216	20,855
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,249	4,249
資本剰余金	3,991	3,931
利益剰余金	24,522	24,400
自己株式	△384	△384
株主資本合計	32,378	32,197
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,516	1,516
為替換算調整勘定	△2,334	1,590
退職給付に係る調整累計額	△122	△107
その他の包括利益累計額合計	△940	2,999
非支配株主持分	2,429	2,563
純資産合計	33,868	37,760
負債純資産合計	51,085	58,616

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	27,639	34,234
売上原価	19,656	25,697
売上総利益	7,983	8,536
販売費及び一般管理費	7,138	7,719
営業利益	845	816
営業外収益		
受取利息	103	55
受取配当金	95	116
為替差益	16	—
助成金収入	98	—
持分法による投資利益	247	155
その他	103	107
営業外収益合計	664	434
営業外費用		
支払利息	38	47
保険解約損	21	—
為替差損	—	5
シンジケートローン手数料	—	63
その他	17	28
営業外費用合計	76	144
経常利益	1,433	1,106
特別利益		
固定資産売却益	56	—
関係会社出資金清算益	22	—
投資有価証券売却益	—	3
特別利益合計	79	3
特別損失		
関係会社出資金評価損	—	152
特別損失合計	—	152
税金等調整前四半期純利益	1,512	958
法人税等	285	384
四半期純利益	1,226	573
非支配株主に帰属する四半期純利益	201	130
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,025	442



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,226	573
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	△0
為替換算調整勘定	1,138	3,900
退職給付に係る調整額	9	15
持分法適用会社に対する持分相当額	83	329
その他の包括利益合計	1,223	4,244
四半期包括利益	2,450	4,817
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,079	4,382
非支配株主に係る四半期包括利益	371	435

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りに用いた主要な仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計		
売上高							
金属加工油剤関連事業	10,764	8,628	3,674	3,288	26,356	—	26,356
ビルメンテナンス 関連事業	1,283	—	—	—	1,283	—	1,283
顧客との契約から 生じる収益	12,048	8,628	3,674	3,288	27,639	—	27,639
外部顧客への売上高	12,048	8,628	3,674	3,288	27,639	—	27,639
セグメント間の内部 売上高又は振替高	636	14	—	45	696	△696	—
計	12,685	8,643	3,674	3,333	28,336	△696	27,639
セグメント利益又は 損失(△)	△63	486	337	374	1,135	△289	845

(注) 1 各地域セグメントに属する国

日 本 : 日本

南 北 ア メ リ カ : アメリカ、ブラジル、メキシコ

中 国 : 中国

東南アジア/インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△289百万円のうち主なものは、未実現損益の消去が△6百万円、クオリケム社買収に係るのれん及び無形固定資産の償却費△282百万円であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計		
売上高							
金属加工油剤関連事業	11,969	12,455	4,361	4,127	32,914	—	32,914
ビルメンテナンス 関連事業	1,320	—	—	—	1,320	—	1,320
顧客との契約から 生じる収益	13,290	12,455	4,361	4,127	34,234	—	34,234
外部顧客への売上高	13,290	12,455	4,361	4,127	34,234	—	34,234
セグメント間の内部 売上高又は振替高	914	9	—	17	941	△941	—
計	14,204	12,464	4,361	4,145	35,175	△941	34,234
セグメント利益又は 損失(△)	△3	694	218	251	1,160	△344	816

(注) 1 各地域セグメントに属する国

日 本 : 日本

南 北 ア メ リ カ : アメリカ、ブラジル、メキシコ

中 国 : 中国

東南アジア/インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△344百万円のうち主なものは、未実現損益の消去が△11百万円、クオリケム社買収に係るのれん及び無形固定資産の償却費△332百万円であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。